

※文字の大きさは Meiryu UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. C-2

部門名	エントリー名
地域とともにある学校実践部門	浜松市立伊目小学校
活動名:	
主タイトル: 地域と笑顔をつくる活動 副タイトル: 遠泳大会などの三世代交流事業	
解決すべき課題: ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか? 視点などを含めて記載してください。	
平成に入ると、伊目地区でも少子・高齢化が危惧され始めた。そこで、地域と学校が連携し子供たちに健やかな心身を育むとともに、郷土を愛する心を育むことにした。平成 2 年に自治会が中心となり「明るい伊目地区をつくる会」を創設し、生き生き学校などの三世代交流事業を実施し地域の結束力を高めた。	
目標・方針: ※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。	
地域の各団体が有している力を具現化するため、三世代交流事業を年間計画に位置づけ活動している。この会は、会則に則り4月の計画承認から翌年2月の報告まで組織的に進んでいる。なお、三世代交流事業は年間計画や推進する団体が決まっているため、各事業は滞りなく円滑に進められている。	
活動内容: ※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください	
7月 生き生き学校(遠泳大会、川遊び、宿泊体験、朝食づくり、みのり会との交流など1泊2日の活動) 推進団体: PTA、学校、自治会、みのり会、祭典実行委員長、体育推進委員 遠泳大会は、距離とフォーム(平泳ぎとクロール)の検定に合格した4~6年生が参加する。Aコース(1,000㍓)とBコース(500㍓)がある。地域総出で子供たちを見守る伝統行事である。午後は全員で川遊びをする。そして、学校での宿泊体験をして翌日は、みのり会と輪投げやゴルフで交流する。	
9月 伊目大運動会 推進団体: PTA、学校、自治会、みのり会、体育推進委員 伊目地区の住民や幼稚園児も参加する、地域をあげた体育行事である。	
12月 門松づくり 推進団体: 学校、みのり会、PTA 三役 6年生が地域やPTAの方と門松をつくります。事前に門松の由来を調べるなど、日本の伝統文化を学ぶ場となっている。道路に面した正門に飾るため、毎年地域の方の目を楽しませる。	
活動の成果: ※課題設定に対して、どんな影響、変化あったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。	
本会の事業により、子供たちは地域で大切にされていることに気づいたり、大人としての生き方に気づいたり成長している。それとともに、豊かな心や郷土愛が育まれている。そのことは、小学生の時だけでなく、中学生や高校生になっても、地域の方に気持ちの良い挨拶をする姿から見られる。4月当初、入学して間もない1年生の手を上級生が引き登校する微笑ましい場面に、地域のだれもの心が和む。さらに、登校を渋る下級生を上級生が優しく諭す姿は、まさに今日の教育に求められている思いやりの心が醸成されたものであるといえる。このような子供が育まれているため、学校と地域との絆は深く、学校教育への協力度・信頼度が高い関係にある。	
<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年 10 月 24 日の静岡新聞に『「住んでいてよかった」実感』が掲載され、地域の方を喜ばせた。 「生き生き学校が楽しみですか」という設問に 95%以上の子供が「はい」と答えた。 「伊目に住んでいてよかったと思いますか」という設問に 92%以上の子供が「はい」と答えた。 地域が「伊目の子は、伊目の衆で育てる」という想いをもち、学校と同一歩調で子供を育てる環境がある。 	
アピールポイント(アイデアや工夫): ※3~5つ程度、箇条書きしてください	
<ul style="list-style-type: none"> 今日では、浜名湖で遠泳大会を実施しているのは本校だけである。(浜松市の広報誌にも取り上げられた) 毎年7月の「生き生き学校」は、地域の活動として定着しており、子供も地域の方も楽しみにしている。遠泳大会、川遊び、学校宿泊体験、朝食づくり、みのり会(高齢者の会)との交流をしている。 伊目大運動会は、子供、高齢者を含めた地域の方が一体となり行っている。(よき、一昔前の運動会) 門松づくりは、地域の方とふれあうだけでなく、伝統文化を学ぶ場でもあり、伊目の風物詩となっている。 	

写真1/浜名湖での遠泳大会



写真2/川あそび



写真3/門松づくり



調査対象: 平成 30 年 10 月: 1~5 年 108 名

[設問: 生き生き学校は楽しみですか]

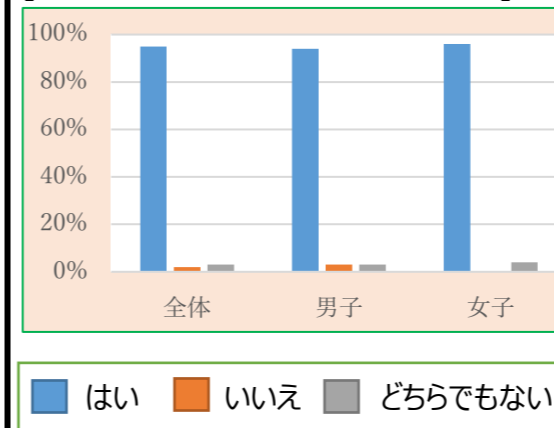


図1/明るい伊目地区をつくる会 会則(抜粋)

第3条 (目的)

本会は、伊目地区住民が主体的に各世代間の触れ合い活動を推進し、活動を通して連帯感を深め、青少年の健全育成をはかると共に、明るい地域づくりをする。

第4条 (活動)

本会は、目的達成のため次の活動をする。

- 1 三世代の交流に関すること。
- 2 地域と幼稚園、小・中学校の連携に関すること。
- 3 家庭や地域における青少年の環境づくりに関すること。
- 4 その他、目的達成のために必要な活動に関すること。

[設問: 伊目に住んでいてよかったと思いますか]

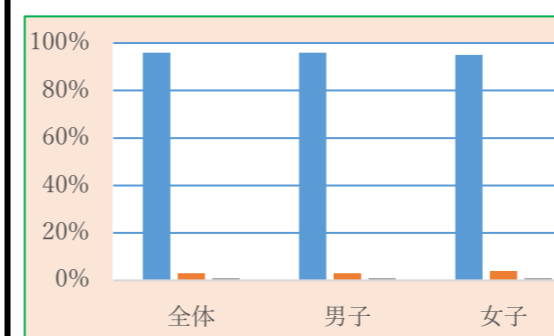
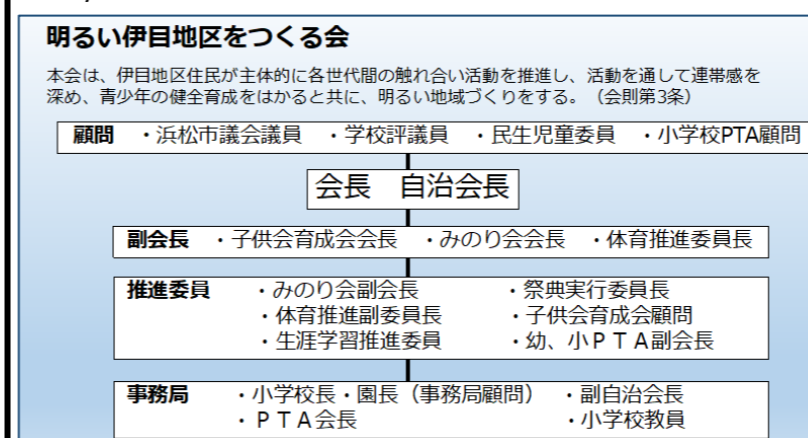


図3/平成 30 年 10 月 24 日 静岡新聞

図2/地域の組織「明るい伊目地区をつくる会」の組織図



「住んでいてよかった」実感

浜松市北區 藤田 慶亮 (小学生 12歳)

僕は「この伊目地区に住んでいてよかった」と思う出来事が最近「つありました。一つ目は、運動会です。運動会の前日と当日の朝に雨が降りました。グラウンドの状況は悪かったのですが、先生たちだけでなく、地域の方たちが雑巾やバケツで水を吸い取り、運動会ができるようにしてくれました。運動会では、全校児童だけでなく地域全体との団結力が高まり、最高の思い出になりました。

二つ目は、台風24号が通り過ぎた後のことです。伊目地区は停電が長く続き、信号が止まったままです。地域の方が通学路で見守ってくれたり、横断歩道を安全に渡してくれたりしました。おかげで、安心して登下校ができました。僕たちができる地域の方への恩返しは、進んでいさつしたり、全力で行事を楽しんだりすることだと思います。これからも、地域の方とやる行事があります。思いっきり一緒に楽しみたいと思います。